



2020年6月19日

各 位

会社名 日本電波工業株式会社
 代表者名 代表取締役執行役員社長 加藤 啓美
 (コード番号 6779 東証第一部)
 問合せ先 執行役員管理本部長 青山 通郎
 (TEL. 03-5453-6709)

減損損失の計上及び通期連結業績予想と実績との差異 並びに子会社株式評価損（個別）の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2020年3月期決算において、減損損失の計上を決議するとともに、2019年11月8日に公表した2020年3月期の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のようにお知らせいたします。

また、2020年3月期の個別決算において、子会社株式評価損を計上することとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上

新型コロナウイルスの影響により車載市場向けの売上高が落ち込むことが予想されることから、主に車載市場向けの水晶振動子、水晶機器の生産を行う古川エヌ・デー・ケー株式会社、蘇州日本電波工業有限公司、蘇州日電波電子工業有限公司の製造設備等について減損損失1,970百万円を計上いたしました。

2. 2020年3月期通期連結業績予想数値と実績との差異(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当 たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	39,800	△6,400	△6,700	△7,000	△7,000	△356.70
実 績 (B)	39,468	△8,286	△8,644	△8,709	△8,709	△443.79
増 減 額 (B-A)	△332	△1,886	△1,944	△1,709	△1,709	
増 減 率 (%)	△0.8%	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	42,498	406	△56	△251	△251	△12.80

(修正の理由)

上記のとおり、当連結会計年度末において減損損失1,970百万円を売上原価に計上することとなったため、営業利益、税引前利益及び当期利益は予想を下回る結果となりました。なお、新型コロナウイルスによる業績等への影響につきましては、本日(2020年6月19日)公表の2020年3月期決算短信をご参照下さい。

3. 子会社株式評価損（個別）の計上

当社の連結子会社である函館エヌ・デー・ケー株式会社及びASIAN NDK CRYSTAL SDN. BHD.の株式について、同社の業績悪化等による純資産額の減少を踏まえ、2020年3月期の個別決算において、子会社株式評価損2,454百万円を特別損失として計上することといたしました。

なお、当該子会社株式評価損は個別財務諸表のみに計上されるものであり、連結決算においては消去されるため、連結業績への影響はありません。

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以 上